

温水点滴処理によるブドウの 白紋羽病の治療技術



白紋羽病によるブドウ枯死樹



温水点滴処理

開発のねらい

ブドウの白紋羽病は、防除が極めて難しい土壌病害です。これまでは、薬剤を土壌の中に施用していましたが、かなりの重労働で、また環境への配慮も課題でした。そこで、（独）農研機構果樹研究所と共同で、環境にやさしい防除技術を開発しました。

新技術の概要

- 白紋羽病にかかった樹の株元を中心として、1.5×1.5mの範囲に50～55℃の温水を、約4時間点滴処理すると、白紋羽病を治療することができます。
- 温水点滴処理は新しく開発された専用機を使用します。この専用機で、防除を安全・確実に行うことができます。

活用場面

ブドウ被害の軽減による農家経営の向上と、安定供給による「くだもの王国おかやま」のブランド強化に役立ちます。